

議会だより

いずみざき No.63

令和7年2月1日発行

輝く未来を子ども達へ



陶芸教室

白樺祭 -合唱コンクール-



中学校スポーツ大会



白樺祭 -3学年発表-



いずみちゃん

目次

- 表紙…………… 泉崎中学校
- 2～3ページ…… 12月議会定例会報告
- 4～11ページ…… 7名の議員が村政を問う！
- 12～14ページ…… 議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：<https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

令和6年第4回 12月定例会

令和6年12月5日～12月13日

(一般質問：12月10日)

* 令和6年第4回定例会が開催され提出された報告1件、議案14件合わせて15件を可決しました。議案はすべて全会一致で可決されました。一般質問は7名の議員が行いました。

詳しい議案件名等はこちらから⇒



泉崎村課設置条例の一部を改正する条例

「こども支援課」を設置するため泉崎村課設置条例の一部を改正

Q こども支援課を設置するにあたり、教育委員会がなくなるわけではないということだがどのような人員配置になるのか？

A 三つの担当係を抱えており、人数配置等はこれから詰め段階。また教育委員会の所管が減となるので人員減になるかはこれから最終的に調整し詰めの作業に入る

新たな課を設置
子育て世帯に包括的な支援
と行政サービスを

泉崎村こども施策審議会条例

少子化社会対策大綱

子供・若者育成支援推進大綱

子供の貧困対策に関する大綱

こども大綱

こどもまんなか社会を目指す
新たなこども計画を作成

Q こども大綱の中身は？村としてどんなことをやらなければならないのか？

A アンケートの対象を小学生生徒保護者から高校生の生徒保護者までを広げ令和7年～11年の5か年計画に向けてアンケートをとる

Q 目的は何で、何を実現させようとしているのか？

A こども大綱は、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来に渡って幸せな状態で生活をおくることができる社会を目指し、アンケート結果に基づいて具体的な手立てや施策をこれから決めていく

録画映像はこちらから
スマートフォンでも視聴可能！

※アクセス件数

- ・ 議会会議録
延べ件数 8,356件 (月平均 48.0件)
- ・ 議会映像中継
延べ件数 8,320件 (月平均 47.5件)



85歳以上の施設使用料無料に 泉崎村パークゴルフ場

近年の高齢化社会に対応するため85歳以上の施設使用料を無料にすることで、高齢者の健康増進、スポーツの振興及び世代間地域間の交流促進を図ることを目的に施設の使用料を一部改正 (※令和7年3月1日より)



令和6年泉崎村一般会計補正予算(第5号)

議案第61号 令和6年度泉崎村一般会計補正予算(第5号)の主な内容

2,367万7千円を追加し予算総額を44億867万円とする

歳入	金額	内容
こども家庭センター開設準備経費	511万8千円	こども家庭センター開設準備金として(国庫負担金)
先駆的民間プログラム活用事業費	120万円	県より健康増進を目的としてインストラクターを派遣する補助事業
歳出		
こども家庭センター事業費	1,116万2千円	こども支援センターに併設する形でこども家庭センターを開設し、センターで使用するものの購入費用
先駆的民間プログラム活用事業	120万円	健康増進を図る為の事業

Q こども家庭センター事業費1,116万2千円、全体の構想は??

A 保健センター内にこども支援課を設置し、こども支援課内に「こども家庭センター」を設置する構想。役場庁内の情報関係のシステム、母子保健関係システム、児童福祉関係のシステムの3つのシステム改修と電話工事、公用車購入、備品購入(机・椅子・棚等)の予算を考えている

Q 先駆的民間プログラム活用事業120万円、具体的な内容は??

A 目的：生活習慣病予防の知識を習得し、自ら実践し継続できる実践力を身につける。

対象者：40歳～75歳特定保健指導の対象者及び特定検診受診者(全日程参加可能な方)

人数：25名

内容：セミナー、機能改善ストレッチや体幹トレーニング等を体験 令和7年3月31日まで実施

業者：県の要綱に沿い専門業者に委託する。

令和7年第1回(1月)臨時会報告 会期：令和7年1月10日(金)

○令和6年度泉崎村一般会計補正予算(第6号)

7,568万5千円を追加し、予算総額を44億8,435万5千円とする

令和6年12月17日に成立した国の補正予算において、物価高騰に鑑み、住民税非課税世帯に関する支援、及び生活者支援等の重点支援地方交付金などが予算化されたことに伴い、速やかな支援策を講ずる必要があることから、補正予算を編成するものです。

*住民税非課税世帯給付金(非課税世帯1世帯3万円(600世帯見込)・子ども一人に対し2万円(150人分見込))

*物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援給付金(県の補助事業で非課税世帯に対し6,000円(600世帯見込))

*地域経済支援商品券(令和6年5月と同じく村民一人当たり5,000円分(6,200人分見込))

(3)議会だより

一般質問

7人の議員が村政を問う

▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

- | | |
|---|--|
| 1. <small>しらいし まさお</small> 白石 正雄 5 ページ | 4. <small>つむらや りょういち</small> 円谷 亮一 8 ページ |
| ・オーガニックの推進 | ・若者の村づくりへの参画 |
| ・有機農業の振興 | ・自衛隊広報活動の協力 |
| ・マイナ保険証対応 | |
| ・子どものスマホ規制 | 5. <small>かとう けいこ</small> 加藤 恵子 9 ページ |
| ・保健師の採用 | ・がん患者に支援を!! |
| | ・学生服をリユースできないか? |
| 2. <small>ながくぼ たかゆき</small> 長久保孝行 6 ページ | 6. <small>あんどう あかね</small> 安藤 茜 10 ページ |
| ・第6次泉崎村総合振興計画 | ・村内の道路について |
| | ・子ども体力低下への対応 |
| 3. <small>すずき やすひと</small> 鈴木 保仁 7 ページ | 7. <small>のざき たかし</small> 野崎 隆 11 ページ |
| ・県道139号線・県道75号線について | ・県道塙・泉崎線の補修工事について |
| ・防災について | ・大型体育館の設備について |

オーガニックの推進

白石 11月8日、第2回全国オーガニック給食フォーラムが茨城県常陸大宮市で開催され参加してきた。農林水産省・文科科学省と地方自治体や農協、生協、農家、住民が協力してオーガニック給食を推進しており、今後、全国にこの取り組みが広がることを実感してきた。本村においても取り組みが必要があると思うが、現在の状況と今後の方針について伺いたい。

教育長 オーガニック食品を取り入れた給食の取り組みは、現在実施していない。給食では通常行われている農業により生産栽培されている食品を使用している。有機農業による生産食品の活用については、



白石 正雄 議員

供給量、時期、価格、食品の質など乗り越えなければならぬ課題がある。学校給食への有機農産物の活用は、今後の農業政策によると考えている。

有機農業の振興

白石 全国でオーガニック給食を中心として、有機農業に対する取り組みが強化され、農林水産省は、全国の耕地面積の4分の1を有機農業にする方針である。12月8日を有機農業の日とし、特別期間も設けて特設サイトを立ち上げ、日本の農業の未来を考える日にしたとしていて。泉崎村の農業の現状と将来を考えるのと、本村の農業政策の基本に「有機循環型農業」を据える必要があるのではないか。地域計画や農地プランを作成するにあたり、全国の先進事例に学ぶことが重要であると考ええる。

産業経済課課長 2006年12月8日に有機農業推進法が作られてから10年後となる。2016年12月8日に10周年を記念し、有機農業の日が制定された。し

かし、諸外国と比べて、日本での有機栽培や無農薬栽培は、それほど普及していないのが現状。その原因は、日本独特の気候で高温多湿の影響により作付けが難しい。2つ目は労力がかかり、生産者にとって取り組みにくい。3つは日本の消費者は綺麗で形の整った野菜を好むため、生産者を苦しめること。4つはエコロジーやサステイナブルに対する意識が低いこと、この他にも有機ジャスの認証の取得や審査費用などコストがかかる面もある。この要因を解決しないと、生産者としては、有機農業有機栽培に取り組むことが困難であると思われる。

マイナ保険証対応

白石 国民健康保険証からマイナー保険証への切り替え問題にどう対応するのか。

住民生活課長 マイナンバーカードの取得状況令和6年10月末で全国が75.7%、福島県が76.8%、泉崎村が77.3%。保険証の有効期限は国民健康保険者が、令和7年10月1日。後期高齢者医療保険者は令和7年

7月31日。その他の健康保険等は、最長1年間従来通り利用できる経過措置が設けられている。有効期限後の対応は、マイナー保険証を保有していない方すべてに資格確認書送付する。資格確認書の有効期限は5年以内ですが、福島県では1年間に統一されている。マイナンバーカードの有効期限は5年。解除申請は本年10月28日より窓口で開始。泉崎村のマイナ保険証登録率は67.6%、後期高齢者が23.7%である。

子どものスマホ規制

白石 11月28日オーストラリア国会は16歳未満のSNS利用を禁じる法案を可決した。子どものスマホ利用は、視力を低下させ脳の発達に大きな影響を及ぼすところから規制を検討するところが多数になってきている。村内小中学生の利用実態はどうか。

教育長 スマホ所持の現状は、小学生で個人所有が26%家族所有を含めると71%。中学1年生の個人所有68%、2年生62%。3年生56%。平日の利用時間は、小学生の33%が1

2時間。中学生については2時間が23%。2〜3時間が23%、5時間以上が12%。利用内容で最も多いのは動画視聴、続いてゲーム。家庭にルールがないのが27%。ルールのある家庭が73%。学校に対する携帯電話の持ち込みは原則禁止。基本的に携帯の利用については、家庭の責任において行うことが大切。

保健師の採用

白石 介護保険制度の改悪で、利用枠が狭められてきている。介護保険の枠外になった村民の現況を把握し、適切な支援体制につなぎ福祉効果を上げるために、保健師など人材を確保していくことが非常に重要ではないか。

村長 泉崎村において、保健師や社会福祉士は不足の状態。他の市町村でも同様の状況が発生している。令和7年度の職員採用で保健師2名、社会福祉士2名の採用を予定している。

この他、「高齢者生活支援」について取り上げました。

第6次泉崎村総合振興計画

長久保 交通安全・防犯対策の充実①交通安全教育及び交通安全運動の実施 ②村民の意識の高揚を図る ③交通安全施設の整備 この3点の実施状況を伺う。

村長 村では交通安全意識と交通マナー向上や地域の安全を図る為、年4回交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中に、交通安全テント村啓発活動、交通安全協会・母の会・スクラム応援隊を中心に通学路で立哨、パトロールを実施。小学校では春と秋に、交通安全鼓笛パレードと、児童生徒に交通安全資材の贈呈及び交通安全教室を実施。交通安全設

備は「カーブミラー、啓発看板、交通用品、横断旗等」を整備している。

長久保 一番は村民の命を守ることに目を向け整備を進めて頂きたい。村民の意識の高揚は各家庭に配備の防災無線の他、村公式「＼＼（ライン）」も情報を毎日配信。現在747件の登録者を、2,000件目標に取組めば、村民の意識の高揚がより図れると考え、登録者推進をお願いします。

次に防犯対策で「防犯施設の整備」とは何を整備するのか伺う。

村長 公共施設、公園、道路などの安全性確保のため、カメラ付きLED防犯灯の設置等を考えている。また「防犯連絡所、こども110番の家、ステッカー等」の設置場所拡大を進める考えです。

長久保 今の時代は犯罪者の特定に重要なのが防犯カメラであり、犯罪者の多くは下見をするため、防犯カメラ設置は犯罪抑止になる為、早期検討をお願いします。

次に健康増進について伺う。

全国の子どもの肥満率の状況で本県を含む東北4県が上位10位内にある状況。県は数年前から小中学校に「自分手帳」でスポーツ記録や身体測定記録を自分で記入し把握させ、これが一定の効果が見られると発表されましたが、村は「子どもの健康増進」に何か取組んでいるのか伺う。

教育長 国の健康増進法を基本に「健康維持、疾病予防、栄養改善」を視点に、1つ目は

幼小中学校での定期健康診断を実施。健康状態、疾病予防に取組んでる。2つ目は体力や運動能力の把握。また朝の時間や業間に運動に取組む環境を設定している。中学校は運動部が7割、文化部他が3割ですが、体育授業で可能な限り運動量の増加に取組んでいる。3つ目は朝食の摂取状況など「食に関するアンケート」を実施し、食生活の改善に取組んでいる。本村は学校保健委員会により泉崎っ子の健康な発達を目指し、幼稚園から中学校までの子どもの実態を把握し、家庭と一緒に取組むことを進めている。

長久保 国が子ども家庭庁を設置し「子どもまんなか社会」を掲げる中、子どもの健康増進をお願いしたい。

次に幼稚園教育、現況と課題で「本村も少子化の影響で園児数が減少している中、共働き家庭の増加に伴い保育所申込みも増加し、受入れ保育が生じており改善策の一つとして幼保一元化などの検討が必要となっています」の件で、現状と、改善策を伺う。

教育課長 幼稚園は保育室が10室中、日中保育6室、預かり保育3室、空き1室です。年度途中も受入れるため待機園児はいません。保育園は11月末で、ゼロ歳児の入所保留者6名を認定。保護者には育休の延長等をお願いした状況。また幼保一元化の検討は園児数、出生数の推移を鑑み適切な判断が必要と考えている。

長久保 村人口も減る中で若い年代の流出も考えられ、今後十分な対策をお願いします。

次に火災の予防について「住民と一体となった火災予防、消火活動等の訓練の実施」について実施状況を伺う。

住民生活課長 村では消防団員の規律維持や訓練成果を披露し、士気の向上を図るため、春と秋に検閲式を実施。住民の防火意識の高揚を図るため、全国火災予防運動期間に防火パレード・夜警・出初め式とその訓練を実施。しかし地域住民と一体となった訓練は行っておらず、今後どのような訓練の実施方法があるか検討します。

長久保 住民と一体の訓練は、秋季検閲に区役員等を招待し、終了後「消火器取扱い訓練」等の実施を提案します。第6次泉崎村総合振興計画は素晴らしい計画であり、検討から実現をお願いします。



泉崎村総合振興計画

県道139号線・県道75号線について

鈴木 県道139号線・県道75号線における交差点危険個所を村として把握しているのか。

住民生活課長 北平山地区・

関和久地区には村道を縦横断する県道139号線が通っており、県道75号線と交差する道路が重なる重要路線。交通量も多く、安全性の確保が必要とされる箇所であるものと認識。

危険個所について、村内全域もにおける危険個所の改善にむけ協議を行っている。信号機に関する事については、機会を捉え、必要に応じて引き続き要望していく。



すずき やすひと
鈴木 保仁 議員

鈴木 今後、危険を知らせる看板の設置、停止線等のラインの引き直し、運転手が目視出来る状況をつくる事も必要。国であれば国と、県であれば県と、村道であれば地域住民と話をし、泉崎村道路の危険個所を把握し、今後の安全対策を是非、お願いしたい。

防災について

鈴木 泉崎村での現時点における防災対策について。

村長 万が一の事態に備え自治体の役割は非常に大きいものがあると考えており、災害発生における職員の出勤体制の確立、資機材の確保及び災害の情報収集、分析、対応、生命、安全の確保として救助、救出及び住民避難誘導活動、避難所における生活環境、応援受入れ、災害救助法の適用災害廃棄物等は欠かせない業務となる。村民の方々には、居住する地域の危険個所の情

報、避難場所や避難行動ガイド等、防災に関する情報をわかりやすく掲載した防災マップの配布を行っている。また、備蓄品の準備については、指定緊急避難場所、保健福祉総合センターの敷地内に備蓄倉庫を設けている。防災資機材についても各消防屯所には常時、土のうボックスに土のうを配置しており、その他、発電機、チェーンソー等も準備している。

鈴木 今年には災害が多く、万が一の防災に対する防災訓練を行った自治体が多くなりました。

今後、万が一の防災に対する訓練は必要と思います。民間企業との災害連携・災害時応援協定を結ぶ考えはあるのか。

村長 災害発生時、自治体では被災者支援のための応急対応に追われ、業務量が増大、他自治体や民間企業等からの支援を得て対応する事が不可

欠。村では、災害応急対策に必要な協力を得る為、民間企業等との応援協定を締結している。今後におきましても、民間企業等との応援協定を是非推進していきたい。

鈴木 民間及び自治体と自治体が助けあう事は大切であり、災害時での民間企業等及び各自治体の協力が不可欠。これからも民間企業、自治体との連携・締結をお願い致します。防災備蓄品の導入補助が来年度から拡大する事はご存じか。

村長 総合経済対策の一つとして、災害時における被災者の良好な生活環境を確保する為、水洗式トイレカー、キッ



チンカー等の防災備品の導入費用の補助対象を拡大することは承知している。

また、地方創生交付金を計上し、その一部が使えるよう対象を拡大するとの情報を得ているところであり、本村におきましても導入について精査しながら検討したいと考えている。

鈴木 平時から万全の備えをする事は必要であり、本気の事前防災が必要と言われています。

災害はいつ起こるかわかりません。備えはやりすぎて困ることはありません。是非、今後とも防災意識を持ち行政業務を行なって頂きたい。



泉崎村防災マップ

若者の村づくりへの参加

円谷 持続性を持った魅力ある村づくりをしていくためにも、若い世代が行政に関われる仕組みをつくり、その意見が反映されるような具体的な取り組みが必要と考えるが見解を伺う。

村長 村づくりの計画の策定やその推進に当たっては、各地域や様々なコミュニティの視点を基礎に置くとともに、村全域的な視点からも幅広い年代の皆様のご意見や女性ならではの感性、そして若者が持つ発想や貴重なアイデアなど、地域における人・物・事



つむらや 亮一 議員

を自治体経営における価値のある資源として捉え、有効活用を図ることが重要であると考えている。

令和6年3月に策定した第6次泉崎村総合振興計画の素案づくりについては、今後10年間を見据えた計画となることから、当初より住民各層から成る村づくり委員会を立ち上げ、計画づくりに参画していただきた。

村づくり委員会の構成メンバーには、特に10年先の地域において中心となる若い世代の方々から少子化対策や子育て環境の未来など生の声をお聞かせいただきたく、幼稚園、小中学校PTAや商工会青年部及び認定農業者などの方々にお願いをして1年間に7回の委員会を開催し、多様な意見をいただきた。

若者の村づくりへの参画については、第6次総合振興計画の第6章第1節のところ、「住民参画社会の構築においても、若い世代が行政に関わる仕組みの創設、住民参画に

よる行政を展開することが重要」と、現況と課題を明記しており、今後は行政と住民の連携を図り、豊かで魅力ある村づくりを推進するために、住民参画の機会拡充、村づくり委員会を含めた若者の参画の仕組みなど、その能力を発揮して活躍することができると期待し、今後の仕組みづくりを目指し、今後の仕組みづくりを検討してまいりたい。

円谷 今後の取り組みとして、特にZ世代と呼ばれる現在14歳ぐらいから28歳前後の若者はこれからの地域の担い手となるため、その世代の意見や提案を施策に生かしていくことが大切であると考える。

地元を愛し、今現在泉崎に残り続けて頑張っている若い世代の方たちに対して何ができるのかということを考えていくことが重要なのではないか。若い世代にとってより暮らしやすい村をつくっていただけるよう取り組んでいただきたい。

自衛隊広報活動の協力

円谷 少子化などの影響により、自衛隊員の成り手不足が深刻化している。人材確保のため、本村においても自衛隊の広報活動に対する協力の充実を図っていく必要があるのではないか。

住民生活課長 国では、自衛官の人手不足を解消するため様々な施策を実施しているものの、国の人口が減少する中で、自衛官の募集、採用者数は大幅に減少している状況である。

本村における隊員募集の協力体制については、自衛官募集業務に係る相談員の配置、村広報紙を活用した自衛官募集情報の発信、窓口掲示スペースに自衛隊関連のパンフレット設置や、村内2か所に自衛官募集看板設置などを行い、普及啓発に努めているところである。

また、令和6年7月23日に行った「もっと知ろう自衛隊in泉崎村」において、泉崎図書館を会場に自衛隊紹介ブースの設置や装備品・南極の水の展示などのイベントを開催し、多くの子どもたちや来場者が訪れ、直接自衛隊員に質問するなど興味を示していた。今後においても、協力体制をしきながら自衛官募集情報の発信に努めてまいりたい。

円谷 自衛隊は国の防衛や災害派遣など、非常に重要な役割を担っているため、より質の高い人材を確保できるように引き続き村として協力をしていただきたい。



もっと知ろう自衛隊in泉崎村

がん患者に支援を!!



かとう けいこ
加藤 恵子 議員

加藤 アピアランスケア支援事業について、がんやその治療に伴う外見の変化に直面している患者に苦痛を軽減するケアができるか？

1、村でのがん検診の種類と回数
2、検診を受けた人数と結果再検査・要精密検査となった方の数

3、県ではがん患者支援事業としてウィッグや乳房の補正パット・装着型人工乳房の補助を行っているが、本村では何か支援事業があるのか伺います。

保健福祉課長 1、大腸がん、

胃がん、肺がん、前立腺がん検診が年6回、乳がん検診が年3回、子宮がん検診が年2回実施している。

2、令和5年度で検診を受けた人数は2千710名、再検査・要精密検査は143名、精密検査受診者は58名。5年間でのがん発見者の合計は10名でした。

3、村での支援事業は行っておりません。

加藤 村の検診は充実していると分かりました。検診もたくさんの方が受けているのだなと思いました。結果については、5年間で10名と少なく感じますが、村以外でも検診を受けてがん患者は考えるより多くいると思います。がんの治療には高額なものもあり、費用がかかりウィッグや乳房の補正具まで買えない方もいます。そこで今後県だけではなく村からも助成する事業を検討していただけるか伺います。

保健福祉課長 アピアランス

ケア助成事業の対象者の人数の把握や近隣市町村の取組状況も踏まえ、検討を進めていきたいと考えています。

加藤 がん患者が前向きに生きていけるよう、この助成事業は必要だと考えます。

学生服をリユースできないか？

加藤 学生服、運動着などのリサイクルについてですが、卒業や転居、成長で着られなくなった制服や運動着を不要になった方から必要になった方へマッチングできる仕組み、事業ができないか、村としての考えを伺います。

教育長 制服・運動着の活用について現状では一元化したシステムはない。中学校ではPTAの専門委員会等が提供の呼びかけをしているが、令和5年度は申出がなかった。

全国的に自治体にリユースに関する情報提供や補助金を

制度として設けている事例がある。物を有効利用、需要の状況を踏まえ、今後検討していく必要があると考えています。

加藤 中学校ではPTAなどで必要がなくなった制服を回収しているのを、私は全然知らなかったの、皆さんも知らずに集まらなかったのかなと思います。

このリサイクルの考えは、令和2年の子ども議会でも、リサイクルボックスを設置してほしいと、子ども達も考えていることです。今後検討されるということなので、私からの要望として、

1、SOSの勉強会・講演会などを開催し、そこでリサイクル活動をする。

2、学校のイベントに合わせてバザーのようにPTAや保護者のお世話になって、回収・提供をする。

3、村内の企業やお店などに

協力していただく。

4、社会福祉協議会や公民館に委託するなど、村から働きかけ窓口をつくっていただけないか伺います。

教育長 子ども議会での質問も承知している。需要と供給を考え、今の4点ほどのご指摘を課のほうでも十分検討していきたいと思っております。

加藤 このリサイクル活動によって助かるご家庭があります。もったいないと思いつつながら処分している家庭もあります。子ども達の教育の為にこのリユース活動実現を願います。



村内の道路について

安藤 村内には狭い道路が多数ありますが、側溝にコンクリートの蓋やグレーチングが無い所もあり、車がすれ違う際に左側に寄せ過ぎてしまったりタイヤが側溝にはまってしまふという出来事を何度も見たり聞いたりしてきました。

実際に先月、天王台近くの道路で、女性が運転する車がトラックとすれ違う際に側溝にタイヤがはまってしまったという出来事がありました。その側溝には、草が生えていたり、落ち葉が沢山詰まっています、側溝があると認識出来ないほどでした。特に、若者や女性、お年寄り、そして村内へ移住して来た方は、その場の対応にとっても焦り、と

ても困ってしまいます。狭い道路を優先的にコンクリートの蓋やグレーチングの設置が出来ないか伺う。

村長 村内には多くの狭い道路があり、側溝が土側溝であったり、あるいは、コンクリートであっても蓋やグレーチングが無い所が多く存在し、また、農業用として土地改良区で管理している水路などもございます。

蓋やグレーチングの設置につきましては、周辺の状況、交通量、地域の要望などを踏まえ、必要性をよく精査しながら検討させて頂きたいと思っています。中には、集落の区を通した形で村の方に要望を出してきている所もございます。道路の用水路だけではなく、管理がまた別な所にあるという実態もありますので、そういったものを確認しながら優先順位を決めて、対応を考えていきたいと思います。

安藤 時間がある時にでも村内を巡回して頂き、特に狭くて危ないなという所は、順を追って対応して頂きたいと思っています。

安藤 スマホやゲームをする

子どもの体力低下への対応



天王台下付近の側溝



上町点滅信号美容室付近の側溝

時間が増え、外遊びやスポーツをする子ども達が減少しているのが現状です。これは全国的な問題ですが、外遊びをしたりスポーツを楽しんだりする環境作りが、将来の子ども達のためではないかと思えます。

そこで、本村としてはこういった問題に対し、どのような見解をお持ちなのか伺う。

教育長 外遊び等を楽しむ環境作りについては、遊びを楽しむための施設や組織が重要だと思っています。

本村において、運動等の活動を行なう施設は様々な場所にあります。

組織については、遊ぶ施設があっても、遊ばない、近隣に友達がいないので遊べない。放課後や長期休業中、外で活動している子ども達を私自身も目にする事は少なくなってきました。この課題として、平成28年度から実施している、就労する家庭のお子さんが居場所としての児童クラブ。

就労している、していない関係無く、全ての子ども達が活動出来る、放課後子ども教室。

また、特別企画として、ロボバスケット選手を招いて体験活動を設けております。これらの活動は、全ての子ども達が参加出来るので、今後継続していきたいと思えます。

また凄く大事だと思っているのは、そこに携わる地域の方々がサポーターとして参加しているという事です。

地域の方々と子ども達が直面で顔を合わせて活動出来るので、こういった活動も併せて今後も定着出来るように進めてまいりたいと思っております。

安藤 様々な取組みをなされているとの事なので、更に継続して頂きたいと思えます。

子ども達の病気や生活習慣病のリスクが上がったり、ストレスが溜まって学校の生活に支障をきたす原因にもなっておりますので、継続して頂き、桜ウオークでは、幼稚園、小学校、中学校にも参加申込書を配って、多くの子ども達に参加して頂くのも方法の一つではないかと思えます。是非、検討をお願い致します。

県道増・泉崎線の補修工事について

野崎 県道増・泉崎線の井戸沼理髪店さん付近の交差点補修工事ですが、1、2、3まとめて答弁頂きたいと思えます。

1、現在の進捗状況を伺う。

2、付随する工事について伺う。

3、工期について伺う。



のざき たかし
野崎 隆 議員

建設水道課長 県道増・泉崎線、井戸沼理髪店さんの補修工事について、要旨の1から3まで答弁します。現在、県道を管理します福島県南建設事務所により、井戸沼理髪店さんの少し手前になります。道路沿い側溝の敷設工事が令和6年6月27日から令和7年3月21日を工期として実施しています。

その期間中に、井戸沼理髪店さんの向かい側の路肩の補

修工事も実施すると同事務所より確認しています。

野崎 工期が決まっていると言いますが、何年越し補修工事かなとは思いますが。県道なので仕方がない部分もあるのかなと感じるところではあります。今年度中に工事が完了するという事で一安心しました。

次に、4番の要旨ですが、同県道・高根地区、歩道の整備について伺います。

建設水道課長 同県道整備につきました。植樹帯にコンクリートで埋めてほしいとの要望がありますが、管理します県南建設事務所を確認したところ、令和6年11月7日から令和7年3月13日を工期として工事を発注済みであり、要望のとおり植樹帯部分をコンクリートで埋めるということとあります。



井戸沼理髪店付近の工事

大型体育館の整備について

野崎 地球温暖化に伴う夏場の異常高温、福島県は東北圏ではあるものの、今となっては関東と同等の気温となり40度近い気温となります。本村の大型体育館での、今後のイベント・スポーツ大会等々の熱中症対策に対し、エアコン等の設備、設置を村としてはどの様に考えているのか伺う。

教育課長 本村の大型体育館トレーニングセンター・中学校体育館にエアコン等の設置についてですが、近年、地球温暖化の影響で毎年暑さが増しており、特に猛暑の時期を迎えると学校現場で直面する体育館における熱中症対策が課題であると認識しています。

現在、中学校での取組としては、体育の授業では、暑さ指数31以上の場合には運動を中止しています。部活動においても、こまめに水分補給を行いながら活動を行っています。今後、村と学校において猛暑時期における授業・部活動の在り方、熱中症対策等を踏まえた上でエアコン設置も含め検討していきたいと思えます。

野崎 泉崎村は今、給食センター・東口開口等々、数々の

高額な問題も抱えている状況下であるので、エアコン設置にかかる費用を調べてみますが、かなりの金額となってしまうと思います。そのことからエアコン設置に対しては、国・県による助成金制度の利用などが必要かと思えます。現在、国、県の方でエアコン設置に対する助成があるのかないのか、又、助成金額を伺います。

教育課長 エアコン設置に対する国の交付金、補助金につきましては、学校施設環境改善交付金や、緊急防災減災事業債等が活用できるメニューとなります。特に7月から10月にかけて、猛暑時期に日中、夜間を通して体育館等の施設を利用される生徒や一般利用者の方が安心安全に施設を利用することも施設管理をする上で重要であると認識しています。交付金の活用につきました。現在、白河市、西白河郡の町村等において、公の施設の相互利用に関する協定書に基づき相互利用させるとなっていますので、近隣の市町村の設置状況や施設の利用状況を踏まえた上で慎重に検討する必要があります。

野崎 白河市・西白河郡内での施設共有の協定が



千葉県いすみ市が導入したヒエスゴ
3馬力相当、200V電源
5台×中学校3校▶計15台導入



あることは把握しています。泉崎村の施設だけに、エアコンを設置した場合、他の市町村からも集中使用となると、泉崎村だけがパンクしてしまう懸念もあります。そこでスポットエアコンという移動式で災害時に大変活躍した物があるのですが、部活動や集会の熱中症対策として役立てられ身体もしっかり冷やせ利用者にも評判も良くスポーツ時などの熱中症対策にも十分対応できるとこのことです。勿論、安いものではありませんが、エアコンを設置費用に比べれば大分費用を抑えることができます。今後、村としても、各種イベント等々・敬老会・スポーツ・大会等での安全対策として是非とも考えていただきたい。

友好姉妹都市提携35周年記念
○10月25日(金)

オーストラリアアテモラ町より姉妹都市実行委員会の5名の方が来村しました。



ジェイソン・グット氏と記念撮影



抹茶でおもてなし

鳥峠自然観察会
○10月31日(木)

泉崎村第一小学校4年生と一緒に鳥峠に登りました。



出発式



ジャンケン大会

気仙沼大島・松島海岸駅視察
○11月5日(月)

議員9名と事務局2名で視察訪問してきました。大島では村議会と親交のある菅原哲夫氏より大島の復興状況について説明を受けました。



菅原哲夫氏(左)



全員で記念撮影

福島県町村議会議員研修
○10月25日(金)

郡山ビックパレットふくしまで行われた研修会に議員9名で参加しました。



駅視察



松島海岸駅エレベーター

常任委員会報告

駅周辺整備・給食センターの進捗

経済文教常任委員会

令和6年12月5日、午後1時30分より、役場第1会議室において委員会を開催し、所管事務調査として、関係各課より、今定例会に提出されております議案について詳細な説明を受けました。

- ・建設水道課からは、令和6年度一般会計補正予算歳出の道路台帳整備業務委託費について、泉崎駅周辺整備の進捗状況について説明を受けました。
- ・産業経済課からは、令和6年度一般会計補正予算歳出で9月8日の大雨における災害で農業



用施設の災害復旧費及び農地災害復旧費について質問し詳細な説明を受けました。

- ・教育課からは、学校給食センター工事の進捗状況と、児童館のLED照明器具設置計画について説明を受けました。

子ども支援課 設置に向けて

総務厚生常任委員会

令和6年12月5日午後1時30分より、議員控室において、総務厚生常任委員会を行いました。議案、一般会計補正予算（第5号）の説明は、午前中の全員協議会で説明を受けているので、

直ちに質疑に入り意見を交えながら進めました。主に議案第57号「泉崎村課設置条例の一部を改正する条例」にて、新しく「子ども支援課」を設置する事で意見があり、懸念された専門職の保健師、社会福祉士においては、2名ずつの内定があると報告を受けました。委員会としても子ども支援課が設置されるにあたり、他の課への業務の軽



減につながると共に、村民への行政サービスが向上する事は、明白である事から委員会としても承知をした所です。尚、「災害対策、各課の人員定数、所管する課の事務について」は引き続き、調査、検討を進める事といたしました。

* 次期定例会の予定 *

開会3月4日(火)

一般質問3月11・12日(火・水) / 議案審議3月14日(金)

よい子の発表会

○11月30日(土)

幼稚園の「よい子の発表会」に議員7名で出席しました。子ども達の発表に感動しました。



ふくしま駅伝 選手応援

○11月17日(日)

ふくしま駅伝の選手応援に駆け付けました。一生懸命に走りましたが惜しくも村の部2位という成績でした。選手の皆さん、関係者の方々ご苦労様でした。来年は打倒西郷村を合言葉にがんばりましょう!!



4区 第4中継所付近(鏡石町)



2区 第2中継所付近(泉崎村)



15区 福島市南体育館付近



11区 第11中継所付近(大玉村)



7区 国道4号付近(郡山市)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

先日、「泉崎村二十歳の成人式」に出席させていただきました。今年の新成人の皆さまは、卒園と小学校入学の時期に東日本大震災を経験し、高校の3年間をコロナ禍の中で過ごさなければならず、不条理な出来事に翻弄された世代です。しかし、新成人代表の方が読まれた答辞は、とても前向きで力強く、希望に満ち溢れていました。きっと、自らの手でそれぞれの明るい未来と豊かな人生をつかみ取っていくことでしょう。二十歳の皆様の光り輝く前途を心よりお祝いたします。

(文責 円谷)

編集・発行責任者

議長 岡部 英夫

編集委員長 円谷 亮一

委員長 加藤 恵子

副委員長 白石 雄一

委員 鈴木 義男

委員 木野内 悟

委員 〃 〃